

テーマ：祈りに答えてくださる神様に感謝すること/イエスキリストの十字架を覚えること

○前回の復習：

※2 コリント 5:21

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。」

○感謝：叫びに答えてくださる神様に対する賛美(22-31)

※詩篇 56:8-11

「あなたは、私のさすらいをしるしておられます。どうか私の涙を、あなたの皮袋にたくわえてください。それはあなたの書には、ないのでしょいか。それで、私が呼ばわる日に、私の敵は退きます。神が私の味方であることを私は知っています。神において、私はみことばをほめたたえます。主において、私はみことばをほめたたえます。私は、神に信頼しています。それゆえ、恐れません。人が、私に何をなしえましよう。」

※民数記 6:24-26

「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』」

▶キリストの姿④(マタイ 26:38-39,42; ルカ 23:46)

「そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい。」それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」…イエスは二度目に離れて行き、祈って言われた。「わが父よ。どうしても飲まずには済まされぬ杯でしたら、どうぞみこころのとおりをなさってください。』」

「イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。」

※ヘブル 5:7

「キリストは、人としてこの世におられたとき、自分を死から救うことのできる方に向かって、大きな叫び声と涙とをもって祈りと願いをささげ、そしてその敬虔のゆえに聞き入れられました。」

※ヘブル 2:10-12

「神が多くの子たちを栄光に導くのに、彼らの救いの創始者を、多くの苦しみを通して全うされたということは、万物の存在の目的であり、また原因でもある方として、ふさわしいことであつたのです。聖とする方も、聖とされる者たちも、すべて元は一つです。それで、主は彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、こう言われます。「わたしは御名を、わたしの兄弟たちに告げよう。教会の中で、わたしはあなたを賛美しよう。』」

●「私は主を恐れる人々の前で私の誓いを果たします」とは？(25-26)

(和解の生け贄について：レビ記 7:11-21)

※1 サムエル記 1:11

「そして誓願を立てて言った。「万軍の主よ。もし、あなたが、はしための悩みを顧みて、私を心に留め、このはしめを忘れず、このはしために男の子を授けてくださいますなら、私はその子の一生を主におささげします。…」

※1 サムエル記 1:24-25

「その子が乳離れしたとき、彼女は雄牛三頭、小麦粉一エバ、ぶどう酒の皮袋一つを携え、その子を連れ上り、シロの主の宮に連れて行った。その子は幼かった。彼らは、雄牛一頭をほふり、その子をエリのところに連れて行った。」

▶キリストの姿⑤(ピリピ 2:10-11)

「それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。」

▶キリストの姿⑥(ヨハネ 19:30)

「イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。」

※直訳：

「彼らは来て、生まれてくる民に主の義を告げ知らせよう。主が_____。」(31)

○まとめ